

一、今西内方へ帶一筋給也、一貫引直之、

〔六殿〕 十九日、天晴、甲子、

一、瓜十五數 文識・識舜兩人エ進之、

七 六日、大雨下、八時ニ晴也、

〔ヤミ上參也、スシ一ツ持參也、

〔ラカ〕
〔セ〕四十文ト白手ノコイ一ツ
〔シカ〕
フセ升文ト手ノコイ一ツモンシキ房ニ進之、

七 八日、天晴、壬午、

一、扇一本 識舜房小~~丸~~給也、

七 十二日、天晴、

一、若神主殿おさあい御去ゆへ

ウチワ トウロ

〔キカ〕
リコ トウロ進入之、

團扇

切子燈籠

三輪燈籠

〔今西カ〕
方ノハミハトウトウロ
〔伊カ〕
キリコ 以上二在之、

七 卅三日、天晴、

一、大豆葉 白サ、キ四合敷、
大根ノハ四合ハヤリ敷、

若神主殿三郎ミヤケニ持參也、

七 卅七日、天晴、

一、ナスヒ四十、サウメン六、辰巳殿進入、

七 卅八日、天晴、

一、サウメン二ハ モンシキ房へ進入也、

七 卅日、雨、夕部マテ下也、

〔酒一銚子〕 又二郎女房持參、

一、赤餅十五枚 辰巳殿給候也、

八 三日、早天雨下也、

一、昨夕金 院ヨリ今西内へ慈仙・引茶一カキ持參給候也、

天正十二年雜載

白大角豆
大根葉

茄子
索麩

赤餅

引茶

一、八 卅日、大雨下、甲子

一、鈴米二升カウ、一具くる、シン酒、くヤヲ文識房へ（今西）祐途持參也、中飯ニしやミ用間進納也、

九 三日、天晴、丙子

一、良尊「良カ」ヨリ善送參也、

クルミ
カンヘウ

タウフ ツキ出シ
ヒラ本 ヒラ本 ヌキナ汁 コ汁入慈照コンニヤク色

牛房 「ニシカ」メテ
メシ ツメモチ□ノカイコ四、
サケ五合在之、

六日、天晴、己卯

一、覺聖房へヌキナ進入候、

九 九日、天晴、壬午

一、御節供毎事此通也、

一、朝飯辰巳殿□へ送之、

コマメ ナ汁

味噌

枝大豆

柚

ヤキ物ニ

ケツリ物

サケ少進候、

一、ス、一具、カンヌシトノへ、

一、酒一升 山御シン作へ、

一、ヨコハ一盆、 又三郎女房持來也、

九 十六日、天晴、己丑

一、米二升而 チヤレテ在之間
ミソニツミ 出羽殿へ進入、

卯、晦日、雨氣也、

一、出羽殿ヨリ枝大豆給也、

十 卅三日、天晴、丙子

一、柚五十、金勝院へ進入候處ニ、大柿卅五給候也、

一、柚、方々へクハルフン二百在之也、

一、柚、文識へ十一、識舜へ十一進之、

十 卯、卅四日、雨風在之、

天正十二年雜載

一、代官マコ大夫へ扇一本下也、

十二 八日、天晴、庚戌

一、郡山松左近方へ二十疋進入、

十二 九日、天晴、辛亥

正眞院殿ヨリこにしなへやへ、

一、二斗五升わた米おなし也、

十二 廿一日、アラレ下、雨下也、癸亥

一、松林院殿へ巻數一本ト、歲末ニ山サチ一把ト進入候、米二升三合ク

一、辰巳殿カ、へ大豆八合ノ五升、今西内ヨリ歲末ニ持御出也、同其砌桶ユエ御入也、同道ハ青

智寺・御春兩三人也、

ヒタ 四文ツ、持御出也、

丁卯 十二 廿五日、朝霞霞カ少下、天氣也、

米しやうしんいんとへのこにしの方の米也、五升御うへさまよりもんゆふはうへまいらす也、

山城龍安寺
秀吉ニ見舞
菓子ヲ贈ル
菓ノ條屋敷
徒ノ禮

〔天雲山誌稿〕

十九日 日黃總簿一

天正十二年 三月、下貳百文羊皮、秀吉尾州エ出陣、見舞菓子二百五十文、

豆餉五十文、昆布、金柑從眞珠出、○柿古帆出、九升糲三升陣見舞ニ細新エ、

四月、五百文松田勝衛門、或ヒ二條御屋敷エ家移ノ御禮、

大日本史料 第十一編之十二終

大日本史料 第十一編之十二

昭和三十六年一月三十一日發行

豫約價 八百圓

編纂者 東京大學史料編纂所

發行者 東京大學

印刷者 株式會社 國際印刷

尾關一夫

發賣所 財團法人 東京大學出版會

振替口座 東京五九九六四番
電話 小石川(92)八八一四番

製 本 株式會社 松岳社

著作
所權
有作





